敦賀総合研究開発センター

-教育支援活動　10万人到達！-

原子力機構では、原子力やエネルギーへの理解促進や将来を担う人材育成につなげるため、福井県内の小・中学校や高等学校での理科の授業への支援として、エネルギー分野の講師派遣（出前授業）や実験教材の貸出し、教育イベント等への協力といった教育支援活動に取り組んでいます。

この活動は2005年度から開始し、今回、敦賀市立沓見小学校の出前授業で10万人の皆さまを対象とした教育支援活動を達成しました。

将来を担う人材育成に貢献できるよう引き続き取り組んでまいります。



10万人到達記念撮影


授業風景
（理科「電流がうみ出す力」）

教育支援活動の特徴と内容

①エネルギー分野の講師派遣（出前授業）

学校からの依頼に基づき、学習指導要領等（教科書）に準拠した「理科の授業（実験）」の単元単位（1限）への講師派遣

例　じしゃくのふしぎ、いろいろな電池、放射線の性質と利用

②実験教材等の貸出し

授業で使用する教材の貸出し、担当教育への使用方法等指導

例　霧箱（放射線）、エネルギーカー（環境・エネルギー）

③各種イベント等への協力

福井県内における理科教育等に関するイベントへの出展、参加協力を実施

例　原子力の科学館「あっとほうむ」や美浜町エネルギー環境教育体験館「きいぱす」への出展等

●本資料に関するお問合せ先●
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構　敦賀事業本部　地域共生・広報課
〒914-8585　福井県敦賀市木崎65-20
【ＴＥＬ】0770-21-5026　【ＦＡＸ】0770-21-2045
原子力機構ホームページ　：https://www.jaea.go.jp
敦賀事業本部ホームページ：https://www.jaea.go.jp/04/turuga/

発行：2026年11月

「敦賀事業本部からのお知らせ」のページはこちらから

原子力機構 敦賀事業本部からのお知らせ

地域の皆さまへ


敦賀事業本部長代理
（理事）
近東　正明

日頃より、原子力機構敦賀事業本部の事業運営に対し、ご理解を賜り心より御礼申し上げます。

現在「もんじゅ」では、廃止措置を着実に進めており、ナトリウムの搬出においては、既に非放射性ナトリウムの搬出方法を具体化していますが、このたび放射性ナトリウムについても搬出方法を具体化しました。国内初となるナトリウム炉の廃止措置を着実に進めるため、今後のナトリウム搬出に向けた準備を進めてまいります。

同じく廃止措置を進めている「ふげん」では、来年度から予定している使用済燃料の搬出に向けた準備として、計画していた使用済燃料の輸送容器の搬入を10月に完了しました。

引き続き安全を最優先に準備を進めてまいります。

敦賀総合研究開発センターにおいて2005年度から実施している教育支援活動について、10万人の皆さまを対象に実施することができました。今後も本活動を通じて、将来の人材育成に貢献してまいります。

また、「もんじゅ」敷地内への建設を予定している試験研究炉については、建設地の選定に向け、引き続き地質調査などを進めてまいります。

今後とも敦賀地区における事業への変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

「もんじゅ」サイトに設置する新たな試験研究炉について

-第7回コンソーシアム会合の開催-

10月19日、第7回コンソーシアム会合を敦賀市内で開催しました。

会合では、実施主体である原子力機構、京都大学、福井大学から活動の進捗状況について報告しました。原子力機構からは原子力施設の設計状況や、地質調査の状況について報告し、京都大学からは実験装置の検討状況、福井大学からは人材育成に関する活動状況等が報告されました。引き続きコンソーシアム会合を開催し、活動状況を報告するとともに、出席委員（学術界、産業界、地元関係機関）からご意見をいただきながら検討を進めてまいります。


会合の様子

新試験研究炉の情報はこちらからご覧いただけます
https://www.jaea.go.jp/04/nrr/jp/

高速増殖原型炉もんじゅ

放射性ナトリウムの搬出方法の具体化等について

「もんじゅ」で保有しているナトリウムについて、非放射性ナトリウムの搬出方法は既に廃止措置計画に反映しているところですが、検討を進めてきた放射性ナトリウムの搬出方法についても以下のとおり具体化し、廃止措置計画の変更認可申請を行いました。

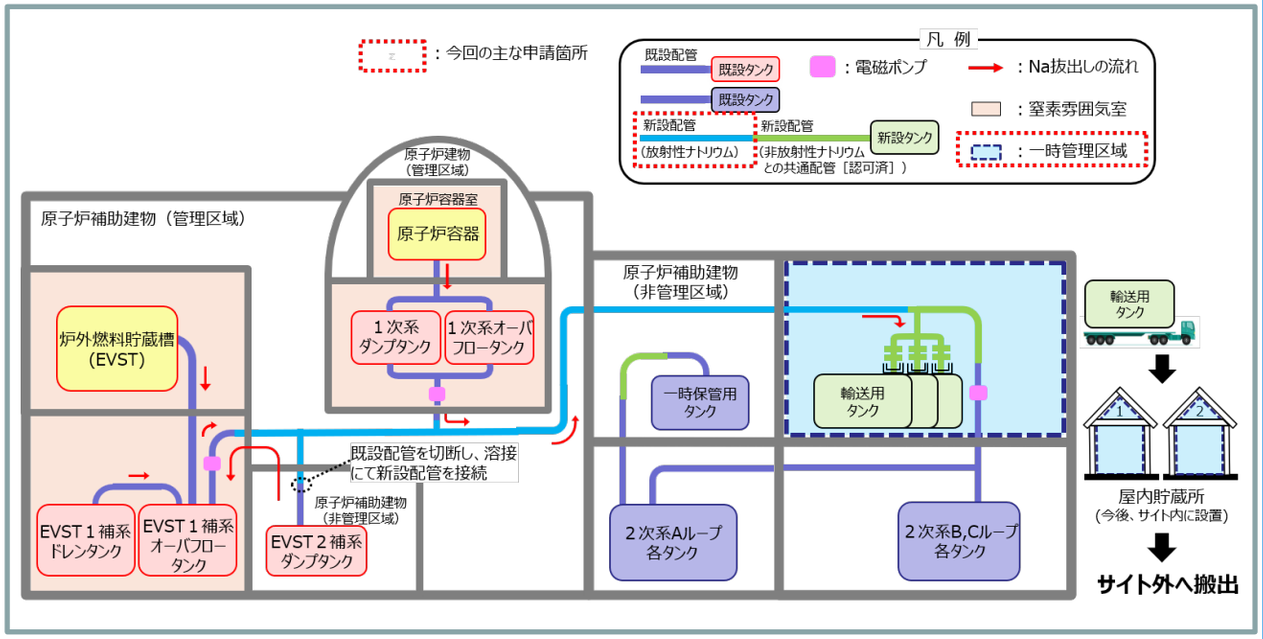
＜放射性ナトリウムの搬出方法について＞

廃止措置計画の第2段階の後半において、輸送用タンクへ抜き取り、以下の方法で搬出を行う計画としています。

【抜出方法】
- 準備作業として、既設のナトリウム配管に輸送用タンクへの接続配管等を追加し、ナトリウム抜出し用の系統を構築
- 既設タンクに固化状態で保管しているナトリウムを既設ヒータにて溶融し、原子炉容器内のナトリウムとともに電磁ポンプ及び抜出し用系統を用いて、輸送用タンクへ抜出し、冷却設備により固化

【搬出方法】
- 輸送用タンクは、サイト内に新設する屋内貯蔵所に移送、一時的に保管し、英国への輸送準備が整ったものから順次サイト外へ搬出

【安全対策】
- 新設する抜出し用の系統にも漏えい検知器やナトリウム受け等を設置
- 抜出しエリア及び屋内貯蔵所は一時管理区域に設定し管理



放射性ナトリウムの搬出方法の具体化

新型転換炉原型炉ふげん

使用済燃料輸送容器の搬入完了について

「ふげん」で保管している使用済燃料（466体）の仏国への搬出について、2027年度に搬出を開始し、2031年度に搬出を完了する計画としています。その準備として、仏国事業者にて輸送容器の製造を進めてきました。

輸送容器は、4基の搬入を計画し、2025年11月に1基、2026年10月29日に3基を搬入したことをもって、搬入が完了しました。

引き続き、使用済燃料の搬出が計画どおり完了するよう、仏国等の関係機関との調整を密に行いながら着実に取り組んでまいります。

TN JAキャスク（乾式）仕様（1基あたり）	
キャスク全長	約7.4m
キャスク直径	約2.2m
燃料収納時の重量	約80トン
燃料収納体数	32体

原子炉周辺設備の解体撤去について

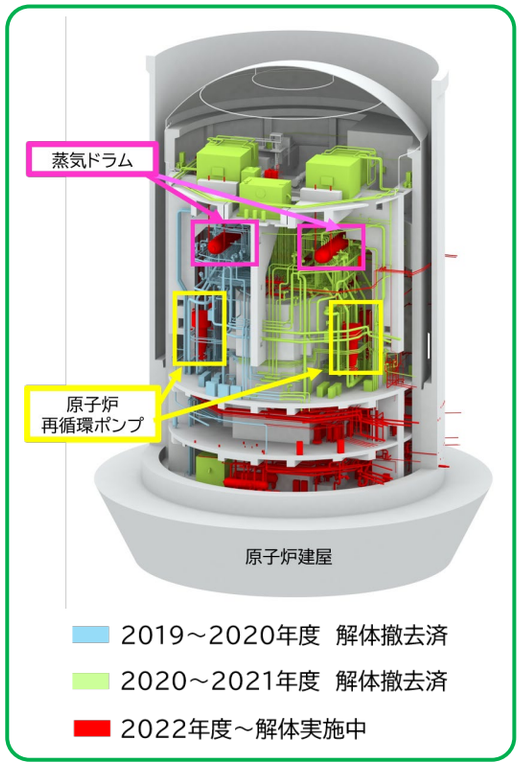
廃止措置計画の第2段階である原子炉周辺設備の解体撤去を進めています。2025年6月から2026年3月にかけて、原子炉建屋に設置された4台の原子炉再循環ポンプ*1（全長6.8m、重量28.5ｔ）の解体撤去を計画どおり終了しました。

今後は、原子炉建屋内に存在する大型の蒸気ドラム*2等の解体撤去を予定しています。

*1再循環ポンプ…運転時、炉心で発生した熱を効率的に冷却材へ伝えるための設備
*2蒸気ドラム…原子炉で温められた水と蒸気を分離し、水分を取り除いた蒸気をタービンに送るとともに、分離した水を再び原子炉に戻す設備



蒸気ドラム(外径 約2m)



原子炉建屋内の解体撤去進捗状況

敦賀地区の事業運営にあたっては、安全確保を最優先に、立地地域並びに国民の皆さまのご理解をいただきながら進めてまいります。